

(別添様式 1)

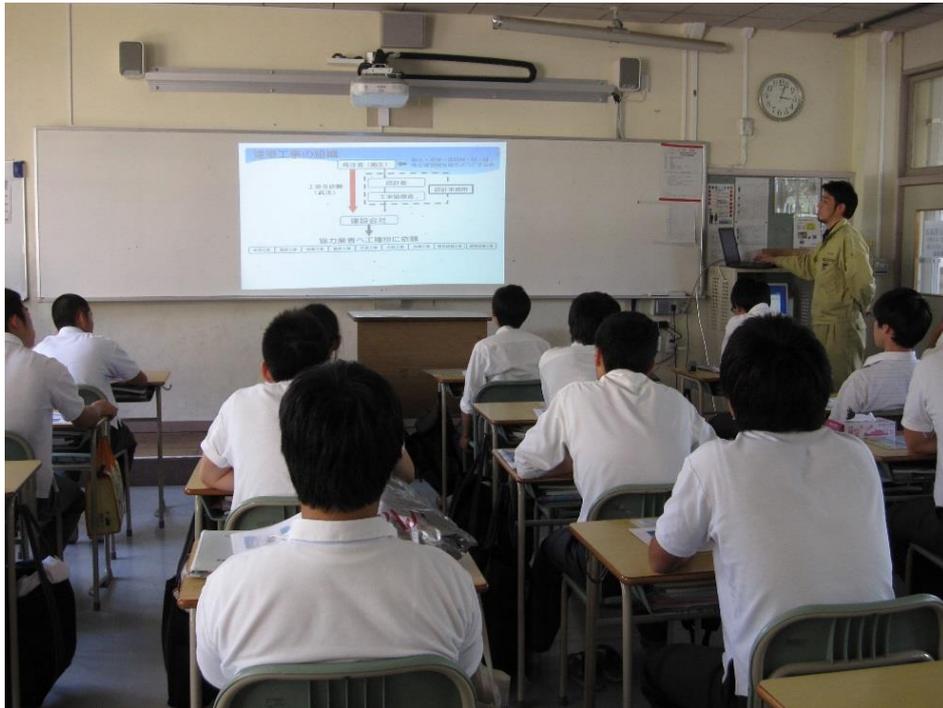
平成 3 0 年度 建設産業魅力発信（担い手確保・育成）取組概要

機関・団体等の名称

一般社団法人 鳥取県建設業協会

事業等の名称	進路説明会
	<p>1. 実施時期 平成 30 年 5 月 25 日（金） 土木系 14 時 50 分～15 時 05 分 建築系 15 時 05 分～15 時 20 分</p> <p>2. 実施場所 鳥取市 鳥取県立鳥取工業高校</p> <p>3. 対象者 県内建設業界に就職希望の 3 年生の生徒 20 名（男子 19 名 女子 1 名） 及び保護者 3 名</p> <p>4. 共催・単独等の開催状況 鳥取県土木施工管理技士会と共催</p> <p>5. 事業等の内容 土木系と建築系に分れ説明 土木系・・・建設業とは、仕事内容、魅力、現場監督の職務・必要な資格、 現場での 1 日、先輩からの一言、社会人としての心構え等 建築系・・・建設業とは、建築工事の組織、施工管理の実務、現場での 1 日、 現場監督に求められる資格、社会人としての心構え等</p> <p>講師 会員企業</p> <p>6. 期待される効果（実施結果：効果） 卒業後、建設業に入職し、定着すること</p> <p>7. 運営上の課題と課題解決に向けての検討・提案 説明時間が足りない</p> <p>8. その他</p>

平成30年5月25日 鳥取県立鳥取工業高等学校 進路説明会



平成 3 0 年度 建設産業魅力発信（担い手確保・育成）取組概要

機関・団体等の名称

一般社団法人 鳥取県建設業協会

事業等の名称	進路ガイダンス
<p>1. 実施時期 平成 30 年 10 月 26 日（金）13 時 30 分～15 時 20 分</p> <p>2. 実施場所 鳥取市 鳥取県立鳥取工業高校</p> <p>3. 対象者 建設業界に就職希望の 1、2 年生の生徒 65 名及び保護者 4 名</p> <p>4. 共催・単独等の開催状況 （一社）鳥取県土木施工管理技士会と共催</p> <p>5. 事業等の内容 4 グループに分かれ、20 分講義を行う</p> <ul style="list-style-type: none">・建設業界の流れ、建設業の役割・必要な資格や免許について・自社施工の事例紹介・建設業で働く魅力について・建設業への入職について 今が入職のチャンス <p>講師 協会専務理事、会員企業</p> <p>6. 期待される効果（実施結果：効果） 建設業に興味を持たせ、卒業後建設業に入職すること</p> <p>7. 運営上の課題と課題解決に向けての検討・提案</p> <p>8. その他</p>	

平成30年10月26日 鳥取県立鳥取工業高等学校 進路ガイダンス



(別添様式 1)

平成 3 0 年度 建設産業魅力発信 (担い手確保・育成) 取組概要

機関・団体等の名称

一般社団法人 鳥取県建設業協会

事業等の名称	高校生・大学生への出前講座
<p>1. 実施時期 平成 31 年 1 月 24 日 (木) 10 時 30 分～12 時</p> <p>2. 実施場所 鳥取市「鳥取大学 第 42 講義室」</p> <p>3. 対象者 (参加予定者数) 2 回生 56 名 (内女子学生 8 名)</p> <p>4. 共催・単独等の開催状況 鳥取県土木施工管理技士会と共催</p> <p>5. 事業等の内容 県内企業の魅力を P R し、県内企業への入職促進につなげるためのキャリア探究 ・建設業の現状、人材確保・育成の取組みや、仕事のやりがい、I C T 活用工事の説明等 講師 協会専務理事、会員企業 O B 2 名</p> <p>6. 期待される効果 (実施結果：効果) 建設産業の魅力発信、イメージアップ、建設業への職業意識を持って頂く一助とする</p> <p>7. 運営上の課題と課題解決に向けての検討・提案 如何に生徒・学生に関心を持たせることができるか</p> <p>8. その他</p>	

平成31年1月24日 鳥取大学工学部 出前講座



平成 3 0 年度 建設産業魅力発信（担い手確保・育成）取組概要

機関・団体等の名称

一般社団法人 鳥取県建設業協会

事業等の名称	インターンシップ
<p>1. 実施時期 平成 30 年 9 月 3 日（月）～ 7 日（金）5 日間 鳥取工業高等学校 平成 30 年 9 月 11 日（火）～14 日（金）4 日間 倉吉農業高等学校 平成 30 年 10 月 23 日（火）～25 日（木）3 日間 米子工業高等学校</p> <p>2. 実施場所 鳥取市、八頭郡、倉吉市、東伯郡、米子市、西伯郡、日野郡</p> <p>3. 対象者（参加者数） 鳥取県立鳥取工業高等学校 2 年生（土木 9 社 12 名、建築 6 社 12 名） 鳥取県立倉吉農業高等学校 2 年生（土木 3 社 5 名） 鳥取県立米子工業高等学校 2 年生（土木 8 社 15 名、建築 4 社 9 名）</p> <p>4. 共催・単独等の開催状況 単独</p> <p>5. 事業等の内容 職業体験を行う研修</p> <p>6. 期待される効果（実施結果：効果） 職業選択におけるミスマッチの減少 社会人としてのコミュニケーション能力の育成及びマナー習得 望ましい勤労感、職業観を養う</p> <p>7. 運営上の課題と課題解決に向けての検討・提案</p> <p>8. その他 受入れ企業は、鳥取県の「インターンシップ研修生受入企業支援事業」 を利用し、人件費の助成を受ける</p>	

平成 3 0 年度 建設産業魅力発信 (担い手確保・育成) 取組概要

機関・団体等の名称

一般社団法人 鳥取県建設業協会

事業等の名称	高校生の現場見学会
1. 実施時期	①平成 30 年 10 月 9 日 (火) 12 時 50 分～14 時 30 分 ②平成 30 年 10 月 30 日 (火) 9 時～15 時 10 分
2. 実施場所	①鳥取市「鳥取西道路 重山トンネル工事」 ②八頭郡若桜町「国道 482 号 (つく米バイパス) わかさ氷ノ山トンネル工事」 鳥取市「鳥取砂丘ビジターセンター新築工事」 鳥取市「湖山川河川改修工事」
3. 対象者 (参加者数)	①鳥取県立鳥取緑風高等学校 定時制課程総合学科昼間部 1 年生 29 名 引率教諭 6 名 ②鳥取県立鳥取工業高等学校 建設工学科 1 年生 37 名 引率教諭 2 名
4. 共催・単独等の開催状況	単独
5. 事業等の内容	現場見学
6. 期待される効果 (実施結果: 効果)	建設業への理解と関心を高め、進路意識の高揚
7. 運営上の課題と課題解決に向けての検討・提案	高校の希望する時期に、適した現場を選定できるか
8. その他	

高校生の現場見学会



平成30年10月9日 鳥取県立鳥取緑風高等学校



平成30年10月30日 鳥取県立鳥取工業高等学校

(別添様式 1)

平成 3 0 年度 建設産業魅力発信（担い手確保・育成）取組概要

機関・団体等の名称

一般社団法人 鳥取県建設業協会

事業等の名称	地元紙を利用した情報発信（1）
1. 実施時期 平成 30 年 8 月 31 日(金)	2. 実施場所 新日本海新聞
3. 対象者 県民	4. 共催・単独等の開催状況 単独
5. 事業等の内容 地元紙（新日本海新聞）に防災特集号として「鳥取の防災力～インフラを守る」をテーマに、国土交通省中国地方整備局鳥取河川事務所長、鳥取県県土整備部長、建設業協会会長が、災害に強い県土づくりを目指して討議した結果を掲載	6. 期待される効果（実施結果：効果） 建設業の役割、イメージアップ
7. 運営上の課題と課題解決に向けての検討・提案 経費の問題	8. その他（公財）建設業福祉共済団事業利用

災害に強い県土を目指して

座談会 鳥取の防災力～インフラを守る

日本列島で自然災害が多発し、今年も北陸地震、鳥取県西部地震、大阪府北部地震、西日本豪雨と続き、被害が広がっている。鳥取県内でも2年前に鳥取中部地震で被災し、豪雷や豪雨でも災害の爪痕が残った。防災・減災に対する備えは防災力を増している。県民の防災意識を高め、災害に強い県土づくりを目指して、官民の連携による「鳥取の防災力～インフラを守る」をテーマに語り合った。

「防災意識の啓蒙は出る。最近、大規模な自然災害が目立っています。また、災害時のそれぞれの役割を教えるべき。」

鳥取県建設業協会会長 山根 敏樹氏

鳥取県国土整備部長 山内 政己氏

鳥取河川国道事務所長 北澗 弘康氏

鳥取県建設業協会会長 山根 敏樹氏

経験ない事態への準備 地域住民の「共助」大切 正しい情報つかみ対応

山根氏 山内氏 北澗氏

鳥取県建設業協会会長 山根 敏樹氏



鳥取県国土整備部長 山内 政己氏



鳥取河川国道事務所長 北澗 弘康氏



災害への準備が必要で、また、社会情勢が変わり、豪雷や大雨が止まる、スローダウンの商品がなくなったように、物流に大きな影響を与えている。現代は大きな影響を与えている。行政としては、これまでの災害の経験を踏まえてから、ハード・ソフトの対応をランダムアップしている。

- 出席者**
- 北澗 弘康氏 (鳥取河川国道事務所長)
 - 山内 政己氏 (鳥取県国土整備部長)
 - 山根 敏樹氏 (鳥取県建設業協会会長)
- 司会 長曾 本明(新日本海新聞社編集制作局長)

近年、これまで経験したことがない気象状況が起きている。先日の7月豪雨で鳥取県でも初めて特別警報が発令されました。今後、経験のない

「災害を通して浮かび上がった課題を教訓として助けてください。」

「今年、この豪雨によって、県全体が10時間くらい孤立の孤島になりました。唯一利用できる山陰道はアックル断たれて、早期ミッシングリンクの解消が課題となっています。早期の高速道路のネットワーク構築に加え、老朽化が進むインフラの長寿命

化の観点から維持管理も重要な要素があり、しっかりとやっていきたいと思います。また、喫緊の課題は建設の担い手不足です。高齢化、人口減少の中、技術者の確保が難しくなっています。鳥取県は、鳥取県建設業協会を軸に、育成連携協議会を立ち上げて、官民連携で学生を支援する人材育成プログラムに取り組みしています。

「ハード、ソフトの両輪で対策を進めなければいけません。例えば、7月豪雨では国道29号、39号が断たれて、1か所ほど被災し、鳥取県は1か所での影響を引きました。周辺への影響が広がりました。一時的には鳥取県中部の主要な道路が寸断されて、ハード・ソフト両面では、これまでに十分な議論の余地があります。また、ソフト面では、いかに逃げたか、どこに逃げたか、実際に行動に移してもらう、情報分けや支援受け、情報共有が重要です。」

「7月は未曾有の豪雨となり、しかも鳥取市街頭ではまだ大雨が降っていました。ここで情報を拾うことが重要でした。豪雨では河川が孤立集落のように、物流が途絶えて生活に大きな影響を与えました。豪雨を任せている人も相当数がいたと思います。急いで復旧するためにも、正しい情報をいち早くキャッチし、事前に対応できるように準備することが必要です。」

「鳥取県建設業協会の役割も建設業は大きな役割を果たしました。鳥取県建設業協会の役割も建設業は大きな役割を果たしました。鳥取県建設業協会の役割も建設業は大きな役割を果たしました。」

「鳥取県建設業協会の役割も建設業は大きな役割を果たしました。鳥取県建設業協会の役割も建設業は大きな役割を果たしました。鳥取県建設業協会の役割も建設業は大きな役割を果たしました。」

「鳥取県建設業協会の役割も建設業は大きな役割を果たしました。鳥取県建設業協会の役割も建設業は大きな役割を果たしました。鳥取県建設業協会の役割も建設業は大きな役割を果たしました。」

「鳥取県建設業協会の役割も建設業は大きな役割を果たしました。鳥取県建設業協会の役割も建設業は大きな役割を果たしました。鳥取県建設業協会の役割も建設業は大きな役割を果たしました。」



働く人たちを守る保険。
大企業も中小企業も

建設共済保険

法定外労災補償制度
契約者と業界の発展のために

安い掛金

手厚い補償
(障害7級まで)

事業内容ますます充実

「建設共済保険」以外にも、次のような事業を行っています。

- 育英奨学事業
- 労働安全衛生推進事業

公益財団法人 **建設業福祉共済団**
〒105-0001 東京都港区虎ノ門1-2-8(虎ノ門駅南口徒歩11分)
Tel:03-3591-8451
■取扱機関：(一社)鳥取県建設業協会
〒680-0022 鳥取市西町2-310 TEL:0857-24-2281
<http://www.kyousaidan.or.jp/> 建設共済保険

(別添様式 1)

平成 3 0 年度 建設産業魅力発信（担い手確保・育成）取組概要

機関・団体等の名称

一般社団法人 鳥取県建設業協会

事業等の名称	地元紙を利用した情報発信（2）
1. 実施時期	平成 31 年 1 月 1 日(火)
2. 実施場所	新日本海新聞
3. 対象者	県民
4. 共催・単独等の開催状況	単独
5. 事業等の内容	「鳥取の未来を創る仕事 建設業」と題して、今年インターンシップを体験された地元高校生 4 名の体験談、女性技術者 2 名の対談を地元紙（新日本海新聞）に掲載
6. 期待される効果（実施結果：効果）	建設業のイメージアップ
7. 運営上の課題と課題解決に向けての検討・提案	経費の問題
8. その他	（公財）建設業福祉共済団事業利用

鳥取の未来を創る仕事 建設業

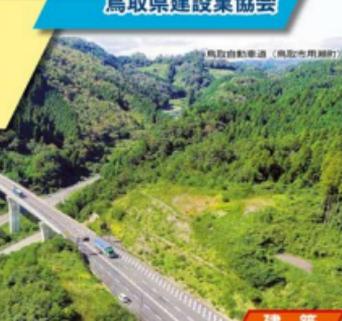
鳥取県建設業協会

夢を現実に特別な一歩

工事現場に出て、ものづくりの大切さ、仕事の厳格さを体感できる各企業のインターンシップは、専門学校生や大学生、生徒が就職先企業での経験としてイメージがして、上で貴重な機会だ。高校生のキャリア教育の一環として、本年度は県内建設業各社が鳥取工業高、豊後豊前林高、倉吉商高、米子工業高の3年次生4人に受け入れた。学校の3日間の勉強を受け、より実践に近い形で現場を経験した生徒たちは、一回り大きくなったように見えた。

鳥取県建設業協会の「建設業の未来を創る仕事」をテーマにした、鳥取県建設業協会が主催する「建設業インターンシップ」は、鳥取県建設業協会が主催する。鳥取県建設業協会の「建設業の未来を創る仕事」をテーマにした、鳥取県建設業協会が主催する「建設業インターンシップ」は、鳥取県建設業協会が主催する。

鳥取県建設業協会の「建設業の未来を創る仕事」をテーマにした、鳥取県建設業協会が主催する「建設業インターンシップ」は、鳥取県建設業協会が主催する。鳥取県建設業協会の「建設業の未来を創る仕事」をテーマにした、鳥取県建設業協会が主催する「建設業インターンシップ」は、鳥取県建設業協会が主催する。



鳥取自動車道(鳥取工務所撮影)

土木

太田 愛乃さん
米子工業高2年 建設科土木コース
受け入れ企業: ティーエム・エス(高松市)
18年10月23日-29日



現場で入念に打ち合わせ

中学での職場体験を機に

建設業の仕事に興味を持ったのは、中学校での職場体験からです。現場で働く姿や、ものづくりの大切さを体感できたことが、建設業への興味をさらに深めました。インターンシップでは、現場での実務体験を通じて、建設業の魅力を学びたいと考えています。

現場で入念に打ち合わせ。現場での実務体験を通じて、建設業の魅力を学びたいと考えています。

米沢 響橋さん

鳥取工業高2年 建設工学科-軽便電線科
受け入れ企業: やまこう建設(鳥取市)
18年9月3日-7日



架線検査をしながら

自然豊かな街づくりしたい

自然豊かな街づくりをしたい。鳥取県は自然豊かな地域が多く、住環境が良い街づくりを目指しています。建設業を通じて、自然と調和した街づくりを実現したいと考えています。



建設現場で働く先輩たちと意見交換

建設現場で働く先輩たちと意見交換。現場での実務体験を通じて、建設業の魅力を学びたいと考えています。



木造プレキャスト工場を見学



現場は感動の連続

現場は感動の連続。現場での実務体験を通じて、建設業の魅力を学びたいと考えています。

建築

岸本 竜佑君
鳥取工業高 建設工学科-建築科
受け入れ企業: 大和建設(鳥取市)
18年10月1日

現場での実務体験を通じて、建設業の魅力を学びたいと考えています。

やりがい1位は「後世に残ること」

建設業が働く鳥取県の若い技術者たち。何年か前に建てた家が、今も大切に暮らされている。鳥取県土木建築業士会の調査では、「後世に残ること」の割合が3分の1を占めた。最も多かった。

若手技術者128人アンケート

建設業の仕事は「将来に残る仕事」として、何年か前に建てた家が、今も大切に暮らされている。鳥取県土木建築業士会の調査では、「後世に残ること」の割合が3分の1を占めた。最も多かった。

けんせつ小町対談

女性も働きやすい業界へ

工事現場を管理する女性の土木建築業士会と対談。本庄美佳さん(鳥取工業高2年)と阿部香織さん(大和建設)が、女性も働きやすい業界づくりに取り組んでいることについて話した。

女性も働きやすい業界へ。鳥取県土木建築業士会と対談。本庄美佳さん(鳥取工業高2年)と阿部香織さん(大和建設)が、女性も働きやすい業界づくりに取り組んでいることについて話した。



本庄美佳さん



阿部香織さん

女性も働きやすい業界へ。鳥取県土木建築業士会と対談。本庄美佳さん(鳥取工業高2年)と阿部香織さん(大和建設)が、女性も働きやすい業界づくりに取り組んでいることについて話した。

女性も働きやすい業界へ。鳥取県土木建築業士会と対談。本庄美佳さん(鳥取工業高2年)と阿部香織さん(大和建設)が、女性も働きやすい業界づくりに取り組んでいることについて話した。

働く人たちを守る保険。

大企業も中小企業も

建設共済保険

法定外労災補償制度

契約者と業界の発展のために

安い掛金

手厚い補償
(補償7種まで)

**事業内容
ますます充実**

【建設共済保険】の他にも、次のような事業を行っています。

- 育英奨学事業
- 労働安全衛生
- 労働安全衛生
- 労働安全衛生

鳥取県建設業協会 建設業福祉共済団
〒680-0001 鳥取県鳥取市元町1-2-1 4F 建設業福祉共済団
Tel:03-3591-8451
建設共済保険(一社)鳥取県建設業協会
〒680-0002 鳥取県鳥取市元町1-2-22
http://www.kyousaidan.or.jp/

(別添様式 1)

平成 3 0 年度 建設産業魅力発信 (担い手確保・育成) 取組概要

機関・団体等の名称

一般社団法人 鳥取県建設業協会

事業等の名称	就職前準備研修
1. 実施時期	平成 31 年 3 月～5 月予定 (2 泊 3 日) 3 回
2. 実施場所	兵庫県三田市武庫が丘 6 - 1 「三田建設技能研修センター」
3. 対象者 (参加予定数)	会員企業の就職内定者 (18 名) 及び就職後 1 年以内の者 (4 名) 計 22 名
4. 共催・単独等の開催状況	単独
5. 事業等の内容	社会人としての基本の習得、労働安全衛生に対する理解、入社前の不安解消等をテーマとした研修
6. 期待される効果 (実施結果: 効果)	社会人としての基本を習得させ、建設産業に対する理解を深めさせ、入社前の不安を解消し、入社後の定着促進を図る
7. 運営上の課題と課題解決に向けての検討・提案	
8. その他	西日本建設業保証(株)の助成により実施

就職前準備研修カリキュラム

■ 1 日目

時間	項目	内容	形態
13:00	開講式		
13:30	オリエンテーション	研修の進め方と研修における人間関係	講義・実習
14:00	ビジネスパーソンに求められる意識－1	ビジネスパーソンに求められる意識 企業とは－会社の目的 何のために働くの？	講義・実習
16:00	スピーチ練習	自分の名前について・自己紹介 会社を選んだポイント 等	実習
17:00	ビジネスパーソンに求められる意識－2	社内でのマナー・指示・報告・計画と段取り 仕事の基本等	講義・実習
18:50		1日目のまとめ 19:00 終了予定	

■ 2 日目

時間	項目	内容	形態
9:00	ビジネスパーソンに求められるマナー（基本編）	身だしなみ あいさつ・発声・表情・姿勢－お辞儀 ・言葉遣い など	講義・実習
11:00	ビジネスパーソンに求められるマナー（社外編）	来客対応－名刺の取り扱い お客様に対する言葉遣い 等	講義・実習
12:00	昼 食		
13:00	ビジネスパーソンに求められるマナー	電話対応 電話の受け方（基本・応用）等 電話対応 ケーススタディ・Eメール	講義・実習
15:10	建設現場で働くための基礎知識	建設業の役割とその魅力	講義
17:00		建設現場の安全 19:00 終了予定	

■ 3 日目

時間	項目	内容	形態
9:00	ビジネスパーソンに求められるコミュニケーション	聞き方・話し方・年齢別のポイントなど 人間関係をスムーズにするために	講義・実習
10:30	建設業に求められるコミュニケーション	ケーススタディ	講義・実習
12:00	昼 食		
13:00	建設業に求められるコミュニケーション（続き）	ケーススタディ	講義・実習・発表
14:00	研修のまとめ	「働く」ことについてのまとめ 新入社員としての自分の目標・計画を立てる	実習
14:30	閉講式	修了証授与	